



世界へのプレゼントになろう

高 岡 ローターリークラブ

2016/3/1

会長/本間比呂詩 幹事/鞍野誠

Be a gift to the world

No.30

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951(S.26)/11/15 チャーターN：1952(S.27)/4/15 創立順位：No.68

司会 塩崎(吉) 会場監督 点鐘 本間 会長
 ローターリーソング
 ゲスト 伏木高等学校 横山正彦 教諭
 伏木高等学校インタークラブ 松井 恭平 さん
 // 皆口 新吾 さん
 // 宮本 涼介 さん
 米山奨学生 Trush Olena Igorivna さん
 会長挨拶/報告
 ■米山奨学生に3月分奨学金を渡す。
 ■稲田会員から会葬挨拶

訃 報

稲田祐治会員の御尊父稲田善治様 (享年 94 才) が 2 月 19 日ご逝去されました。ここに謹んでお悔み申し上げます。 合掌

ニコニコBOX < 6件 22,000円 >
 本間会長/本日は例会変更して、永田ガバナー年度での地区大会記念事業が執り行われます。会員の皆様には最後まで出席よろしくお願い致します。
 藤田君/大伴家持・坂上大嬢の像の除幕式をむかえる事が出来、昨年より多くの方々に御支援頂き感謝申し上げます。

吉岡君/本日、皆様のお陰を持ちまして、当金庫の「新本部棟と別館」が竣工致しました。有難うございました。この後は、本店の新築工事に着工致します。引続きよろしくお願い致します。
 西村君/妻への誕生祝のお花を頂き有難うございました。
 駒井君/家内の誕生日にお花が届きました。有難うございました。
 荒井君/前回誕生祝を頂き有難うございます。

姉妹締結調印式のため 25 名訪台

3/4 (金) ~6 (日) 板橋 RC (台湾) を訪問 (1969 年 4 月 3 日姉妹クラブ締結)
 姉妹クラブ締結延長調印式のため、当クラブから会員 19 名、夫人 6 名出席



2016—17 年度 委員会構成 (委員長・副委員長)

委員会	委員長	副委員長	委員会	委員長	副委員長
クラブ奉仕	岡本 欣治	西村 博邦	社会奉仕	田中 哲	高野 泉
出 席	福島 晴夫	松田 有祐	地域発展	中村総一郎	山本 政則
職業分類	板谷 聡①	山本 毅①	環境保全	多田誠一郎	島 小一
親睦活動	金森 健祐	大川 英一 坪田 伊歩	青少年奉仕	加藤 一博	須河 宗昭
			国際青少年交換	山口 洋祐	鞍野 誠
雑 誌	立浪 徹	稲田 祐治	国際奉仕	齊藤 栄吉	谷道 伸也
会員選考	若野 恒彦	笹川 武	世界社会奉仕	小竹 晋吾	河村 拓栄
会員増強	塩崎 吉康	吉岡 周	ロータリー財団	竹中 伸行	大野 茂利
プログラム	大島 悦男	鷲尾 勝	米山記念奨学会	荒井 毅	室崎 靖
ロータリー情報	中野 健司③	駒井 宏①	ニコニコBOX	山田 彰弘	柳澤 剣治
広 報	石崎 善朔	棚田 淳一	会場監督	塩崎 有克	前川 俊朗
戦略計画	本間比呂詩	西村 博邦	特別基金	藤田 益一	
職業奉仕	加茂 輝隆	渡辺 誠	諮 問	本間比呂詩	

「大伴家持・坂上大嬢」夫婦像 贈呈式と記念講演会開催

於：高岡市万葉歴史館

出席者

記念講演会講師 前文化庁長官 近藤誠一 氏
高岡市長 高橋正樹 氏
高岡市教育長 氷見哲正 氏
高岡市万葉歴史館館長
坂本信幸 氏
伏木高等学校 教諭 1名 生徒 4名
米山奨学生、各種文化団体関係者
高岡 RC 会員 58名 他一般の方々

2014年10月に高岡市で開催した国際ロータリー地区大会の記念事業として、高岡ロータリークラブは、万葉歌人・大伴家持と坂上大嬢（おおいらつめ）の夫婦像を高岡市万葉歴史館に建立し、1日、家持の生誕1300年記念事業の準備を進めている高岡市に寄贈した。



像は、第2610地区2014～2015年度ガバナーの永田義邦さんが提唱した「ふるさとを育み 世界の平和へ」を踏まえ、夫婦が互いに見詰め合いながら、ともに春を喜び、人々の平和を祈る情景を表現。高岡市内に住む彫刻家・田畑功氏が原型を作り、前高岡ロータリークラブ会長藤田益一さんの「平和合金」が铸造した。



像の横には、万葉歴史館の坂本信幸館長が選定した家持の歌「春の苑紅にほふ桃の花下照る道に出で立つ娘子」を刻んだ歌碑も建てられた。前文化庁長官の近藤誠一さんが揮毫した。

像の横には、万葉歴史館の坂本信幸館長が選定した家持の歌「春の苑紅にほふ桃の花下照る道に出で立つ娘子」を刻んだ歌碑も建てられた。前文化庁長官の近藤誠一さんが揮毫した。



1日の贈呈式は、家持がこの歌を詠んだとされる「天平勝宝2年（750年）3月1日」にちなみ、万葉歴史館で行われた。雪が舞う中、高岡市の高橋正樹市長、近藤前長官をはじめ、高岡ロータリー会員、インターアクトクラブの伏木高校生、市内の文化団体関係者ら多数が出席した。

高岡ロータリーの本間比呂詩会長が、像建立から寄贈までの経緯や像に込めた思いなどを紹介。永田パストガバナーは「出席した関係者の皆さんと一緒に喜んでお祝いしたい。高岡のシンボルとなることを願っている」とあいさつし、歌碑に刻まれた歌を朗唱した。



高橋市長は、本間会長に感謝状を手渡し、「家持の像の中で夫婦が見詰め合っているのは珍しいとされ、特徴ある個性的な像。新しい高岡の万葉の里作りのステップになる」とあいさつした。

式の最後には、坂本館長の音頭により、出席者全員で「春の苑…」を朗唱した。

贈呈式後、万葉歴史館で、近藤前長官が「地域と文化—日本再生のキーワード」と題して約1時間にわたって講演。ロータリークラブ会員のほか、一般市民らも訪れ、近藤長官の話に聞き入っていた。（大野広報委員長）

